

建築家 村山 雄一

光は平面に当たる時と、曲面の時とでは反射の仕方が違ってくる。平面だけで構成された家に住み慣れた私たちは、この違いをなかなか実感できない。曲面に当たつて乱反射する、柔らかな光に満ちた空間を体験するのはまれだからである。

建物は水平と垂直の面で構成された四角い箱であるだけではなく、角の取れた連続する線と面に覆われたものであつてもいいのではないか。

か。

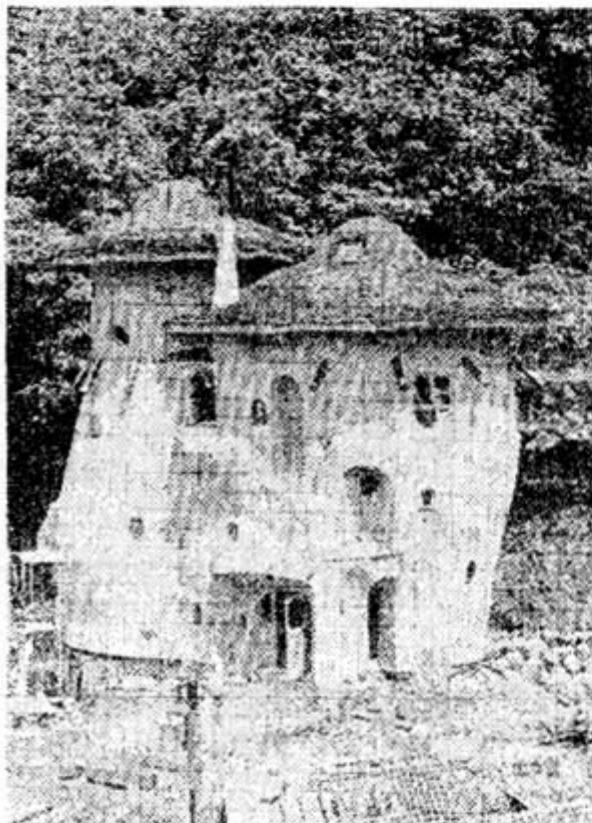
壁の展開や窓の形などを考える時、「部屋は直角という静的で安定した角度によって成り立つ」という概念から離れ、線と面の織り成す角度を今まで感じさせていたる。するといろいろな性格の角度が空間の中現れて、建物の中に動きが感じられるようにな

⑤

んだから。

同時に多様な面によりて生じる乱反射は空間に柔らかな光を運んでくる。「動き」と「光」

## 空間に動きを



完成間近の「ムーミン屋敷」

## 内部は森の中のよう「ムーミン屋敷」

に建設中の「あいぼの子

どもの森公園」内に建つ「ムーミン屋敷」である（ムーミン童話の精神を取り入れた同公園は今年

登場人物は北欧の妖精

「トロール」であるから、これは「精靈たちの家」ということになる。丸太橋頭で、地元の西川材が

だろう。

柱が配置に立っていな  
い建物などめったにあ  
るものではない。どんな  
に腕のいい大工職人によ  
うがたれた窓から差し込  
む光は、木彫れのよう

## 曲面で柔らかく温かく

7月1日「オープン」。他に集会施設「子ども劇場」、展示館「森の家」を備える）。

使われた。ふたつの酒とつくりのうち、ひとつを逆さにして、抱き合せたような姿をしている。

また最近は、調合済みの材料をスーパーから取り寄せ、水でこねるだけ溶む仕事が多い中、この左官職人は建物に合せて、土・砂・セメント・わらすき等の配合

つても、こんな建物を金物に頼らずに組み上げていいことは新しい事への挑戦であった。

ついで、2000年に開業する「ムーミン屋敷」は、この建物ほど四角い部屋、四角い窓の似合わないものはないだろう。

話の中の家である。こんな家が街中にニヨキニヨキ連つたら、子供たちは喜ぶかもしれないが、私たち大人はどうだろう

壁の仕上がりには、大分県産の珪藻土（珪藻土）という植物性プランクトンの死がいが海底や湖底に長年にわたり積もって出来た土を使つた。屋根も土葺きで、もうすぐタンポポの花冠が見られる

げられ、限りなく曲面に近づき、連続する面の流れに変わった。壁は柱から離れて、外に向かって膨らみ、建物全体を覆う皮膜のようだ。窓は内部からの要求に従い、思い思いの大きさと形を開けられている。ポンポンと

内に外にと傾いて林立する柱に囲まれた、この屋敷の内部は森の中のようだ。建物の角は押し広

げられ、限りなく曲面に近づき、連続する面の流れに変わった。壁は柱から離れて、外に向かって膨らみ、建物全体を覆う皮膜のようだ。窓は内部からの要求に従い、思い思いの大きさと形を開けられている。ポンポンと

## 住まいを考える